

週刊新潮『注目の名医 第71回 スペシャルインタビュー』で、当院の川村直行院長、川村明緒先生が紹介されました。

2月22日号 (2018年2月15日発売)



●右 院長 川村 直行 (かわむら・なおゆき)
鳥取大学医学部卒業。京都大学医学部にて博士号取得。専門: 周産期全般、母乳相談、不妊、更年期、婦人科疾病全般。
■日本産婦人科学会 産婦人科専門医

●左 川村 明緒 (かわむら・あけお) 京都府立医科大学卒業。京都大学医学部附属病院、三菱京都病院産婦人科をへて現職。
■日本産婦人科学会 産婦人科専門医

川村 洋介 (かわむら・ようすけ) 京都大学医学部卒業。
■日本産婦人科学会 産婦人科専門医、日本周産期・新生児医学会認定 周産期専門医

同院では医学的に必要だと思われる場合を除き、陣痛促進剤は原則として使用せず、ご本人が産み出す力を最大限に發揮できるようにサポートして自然分娩を実施している。また産後の母乳指導もその方のライフスタイルにあつた個人メニューを作成し好評を得ている。昨年、産後ケアセンターを開設。

「今は核家族化も進み、出産直後のケアが受けられず不安な方も増えている」という先代の考えが貢かれて、朝夕のミーティングで全患者の申し送り事項がスタッフ全員に徹底されていることであろう。

「最も大切なことは安心安全な分娩だと考えていました。それに加えて当院では、『家族』をキーワードに、新しい命の誕生をご家族で迎えていただけるような環境とサービスを提供できるように心がけています。嬉しいことに母娘三代にわたり、当院で出産してくださったご家族もいらっしゃいます。出産は毎回筋書きのないドラマで、妊婦さん一人一人によって分娩経過も違えば、産むご本人が理想とするバースプランや母乳育児の方法なども様々です。当院ではミニユアルはあえて作らず、可能な限り妊婦さんのご希望に添えるよう、『脱マニユアル化』でご相談に応じています」と川村院長。



和室つきの部屋
医療法人仁愛会 川村産婦人科
<http://www.kawamura-lc.net/>
診療時間▶9:00~12:00 / 17:30 ~ 20:00
休診日▶土曜午後、日曜・祝日
※入院は随時受付けています。
所在地▶京都市左京区下鴨高木町 40
電話▶075-781-0029 駐車場 20 台

注目の名医⑦
●スペシャルインタビュー
Special Interview
'18 医療
ルネサンス
京都市左京区 ●スタッフ全員が妊婦全員の状態を把握し一人ひとりに的確に対応
母娘二代での出産も多い産婦人科の草分け
安全な出産を最優先でサポートし『産後ケアセンター』も開設
医療法人 仁愛会
川村産婦人科 院長 川村 直行 医師
出産は毎回、筋書きのないドラマ
川村産婦人科の大きな特徴は、「スタッフ全員が、来院されるお一人おひとりを把握できる規模に留めておくように」という先代の考えが貫かれ、朝夕のミーティングで全患者の申し送り事項がスタッフ全員に徹底されていることであろう。

「最も大切なことは安心安全な分娩だと考えていました。それに加えて当院では、『家族』をキーワードに、新しい命の誕生をご家族で迎えていただけるような環境とサービスを提供できるように心がけています。嬉しいことに母娘三代にわたり、当院で出産してくださったご家族もいらっしゃいます。出産は毎回筋書きのないドラマで、妊婦さん一人一人によって分娩経過も違えば、産むご本人が理想とするバースプランや母乳育児の方法なども様々です。当院ではミニユアルはあえて作らず、可能な限り妊婦さんのご希望に添えるよう、『脱マニユアル化』でご相談に応じています」と川村院長。

